

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	16175
課題名	ドパミントランスポータ画像解析
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2021年 12月 19日
研究の対象	西暦 2013年 1月 1日 ～ 2016年 12月 19日に当院で DAT scan の検査を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：電子カルテ上の病名 ） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ドパミントランスポータ画像 data）
研究の意義、目的	私たちはドパミントランスポータ検査（パーキンソン病や認知症を対象とした脳の検査）の写真から注射のお薬がどの程度、脳に集まっているのかを調べる方法を思いつきました。これによってより早い時期から正しい診断ができるようになるはずと考えています。研究の目的は、私たちの方法の効果を検証することです。
研究の方法	私たちの方法と、従来から使用されていた方法で、それぞれドパミントランスポータ検査の結果を診断します。このとき、違う医師が診断しても、また同じ医師が何度か診断を別の時期にしても、同じ結果になるかどうかを調査します。また、病気の進み具合と診断結果の関係についても調べます。
その他	本研究の画像解析では、研究代表者と日本メジフィジックス社が共同出願した特許技術を使用します。また、この研究に関わる研究者は、同社より寄附金の受入および講演等の謝金の受領がありますが、本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属：放射線医学講座 氏名：沖崎 貴琢（研究責任者） 電話番号：0166-68-2572</p>